島バナナサポーターのみなさま

【　島バナナの収穫見通しと
今後についてお知らせ　】

島バナナの栽培技術確立を
これまで応援していただき
ありがとうございます。

島バナナ協会では、第1期、2期、3期と、
沖縄県立農業大学校高橋健先生の
ご指導のもと、島バナナの栽培技術
確立のための栽培を行ってまいりました。

この2年間で果実が収穫できたのは
6株34kgでした。

この夏から秋にかけて続々と
収穫される予定で
プレミアムコース圃場管理の高橋さん、
スタンダードコース圃場管理の
瀬戸田さんも、実ることを信じて
栽培管理していました。

島バナナの栽培には三大困難があります。
病虫害・台風・泥樗です。
それを乗り越えての収穫を目指して
栽培管理をしていただいていました。

ところが、先月、大型の台風6号が
沖縄本島に接近しました。
最初、沖縄本島の南海上を通り、
東風が20m以上も吹きました。

私たちの島バナナ圃場では、それでもまだ
倒れない株もあったのですが、
台風は変則的な動きをして沖縄本島に
再接近し、北側を通ることになり、
一度は倒れなかった株も倒れたり
折れたりしてしまいました。

この台風6号の影響で沖縄本島では、
最初は東風、次に西風が吹くという往復、
二重の災害となり、島バナナにとっては
最悪のコースとなり、
みなさまにサポーターになっていただいた
およそ30株の島バナナは、
全壊してしまいました。

この数年はほとんど台風害がなかったため、
このような結果になるとは
思ってもみませんでした。

9月末現在、倒れた島バナナの付近から
新しい命が芽吹いて、
苗（吸芽）が確認されています。
それは、希望が持てる
とても嬉しいことではありますが、実るのは、
早くても来年春以降になる見通しです。

プレミアムコースの島バナナ栽培は、
各株を1本仕立てで栽培してきましたが、
台風による折損や損傷により、
全株において継続栽培が困難となりました。

台風により折損した結実株の果実は、
みなさまにお送りできる品質には
至りませんでした。

そこで、サポーターのみなさまには
大変恐縮ですが、代替となる島バナナを、
台風被害の少なかった沖縄県内の
地域から買い求めて
お送りすることにいたします。

そして、今回の
サポーター登録制度については、
一旦終了させていただきたいと思います。

個別にみなさまから
会費（登録料）をいただいて
新しい株を植えるということは、
大きなリスク（台風による全壊というリスク）が
伴い、この夏、それが現実になったことから、
継続が困難であるという判断に至りました。

つきましては、今後の方針としましては、
島バナナ協会で本物の島バナナを
定義することの研究を続け、来期以降、
その中で、実ったものを
ご購入いただけるようにしていこうと
考えております。

1キロ単価をご提示して、ご希望であれば
ご購入いただくというものです。

現在、島バナナの定義について、
千葉大学の先生に
島バナナの遺伝子分析を依頼し、
ご指導を仰いでおります。
そういった研究を、みなさまと
一緒に行っていける新たな制度も
作っていこうと考えています。

来期以降も、全壊した同じ島バナナ圃場で、
より島バナナらしい酸味と香りあふれる
島バナナを作っていただけるよう、
栽培技術確立プロジェクトを
続けてまいります。

さらに、独自の島バナナ認定制度と、
その制度を元にした契約農家制度と
販売の仕組みを作っていきます。

そして実った暁には、
お召し上がりいただけるように、
現サポーターのみなさま宛に、
ご案内する予定です。

今後の運営方針をまとめます。
・島バナナの定義作りと認定制度確立
・信頼できる島バナナ契約農家を増やす
・島バナナに関する商品開発
・島バナナ圃場見学ツアー　　など

オーナー制度・サポーター制度を終了し、
LINEの配信はお休みしますが、
折に触れ、ご案内をしてまいります。

近々、ご登録のご住所に、沖縄県内の
地域から島バナナをお送りいたします。
お待ちいただけますよう、お願いいたします。

今後とも島バナナと島バナナ協会を
よろしくお願いします。

2023年9月30日

島バナナ協会　舞田正光